

業務委託設計書

事業年度	令和 8年度				
設計年月	令和 年 月				
予算科目	款	項	目	節	
履行場所	京都市内一円				
路線名又は河川名等					
委託業務名	令和 8年度 街路樹（サクラ）健全度調査業務委託				
履行期間	契約日の翌日から令和 9年 3月15日まで				
事業課（所）名	みどり政策推進室	単価使用年月	令和 年 月		
業務番号		歩掛適用年月	令和 年 月		
変更回数		基準適用年月	令和 年 月		
前払金支出		単価地区			

京都市 建設局

チェック欄

--	--

委託概要

街路樹診断調査			式	1
外観診断	式	1	機器診断	式 1
打合せ	式	1	番号札作成	式 1

委託理由

本業務委託は老朽化が進行する街路樹（サクラ）の診断調査を行い、維持管理に係る基礎資料を作成するものである。

		設計額		請負額	
		金額	増減額	金額	増減額
業 務 費	前回	円	円	円	円
	今回	円		円	
内 業 務 価 格	前回	円	円	円	円
	今回	円		円	
訳 消 費 税 相 当 額	前回	円	円	円	円
	今回	円		円	

京都市 建設局

積算参考資料（間接費補正一覽）

単 価 使 用 年 月	2026年3月
歩 掛 適 用 年 月	2026年3月
基 準 適 用 年 月	2026年3月
単 価 地 区	2601: I 地区

見積参考資料

本業務で採用した見積歩掛は、以下のとおりです。

診断準備

100本当たり

名称	数量	単位	備考
技師A	0.33	人	
技師B	0.66	人	
技師C	0.22	人	
技術員	1.24	人	

外観診断写真撮影

100本当たり

名称	数量	単位	備考
技師B	0.46	人	
技術員	1.02	人	

外観診断-1

100本当たり

名称	数量	単位	備考
技師A	4.55	人	
技師C	3.01	人	
技術員	3.02	人	

外観診断-2

100本当たり

名称	数量	単位	備考
技師A	6.67	人	
技師C	4.41	人	
技術員	4.43	人	

外観診断-3

100本当たり

名称	数量	単位	備考
技師A	16.67	人	
技師C	11.02	人	
技術員	11.08	人	

外観診断結果分析

100本当たり

名称	数量	単位	備考
技師A	2.22	人	
技師B	1.34	人	
技術員	1.48	人	

外観診断カルテ入力

100本当たり

名称	数量	単位	備考
技師A	3.33	人	
技術員	4.43	人	

外観診断報告書作成

100本当たり

名称	数量	単位	備考
技師A	0.67	人	
技術員	1.33	人	

機器診断写真撮影

100本当たり

名称	数量	単位	備考
技師A	0.33	人	
技師B	0.20	人	
技師C	0.22	人	
技術員	0.89	人	

貫入抵抗測定-1

100断面当たり

名称	数量	単位	備考
技師A	3.70	人	
技術員	2.46	人	
器具機材費・消耗品費	158,100	円	

貫入抵抗測定-2

100断面当たり

名称	数量	単位	備考
技師A	4.55	人	
技術員	3.02	人	
器具機材費・消耗品費	157,700	円	

貫入抵抗測定-3

100断面当たり

名称	数量	単位	備考
技師A	5.88	人	
技術員	3.91	人	
器具機材費・消耗品費	157,200	円	

貫入抵抗測定(根株)

100断面当たり

名称	数量	単位	備考
技師A	8.33	人	
技術員	5.54	人	
器具機材費・消耗品費	283,800	円	

貫入抵抗測定^カ入力

100本当たり

名称	数量	単位	備考
技師A	3.33	人	
技術員	4.43	人	

貫入抵抗測定^カ入力(根株)

100本当たり

名称	数量	単位	備考
技師A	4.17	人	
技術員	5.54	人	

貫入抵抗測定分析

100本当たり

名称	数量	単位	備考
技師A	3.33	人	
技術員	2.22	人	

貫入抵抗測定分析(根株)

100本当たり

名称	数量	単位	備考
技師A	5.00	人	
技術員	3.32	人	

貫入抵抗測定報告書作成

100本当たり

名称	数量	単位	備考
技師A	0.67	人	
技術員	1.11	人	

番号札作成-1

1本当たり

名称	規格	単価 (円)	数量	単位	備考
スプリング-1	アホック社同等品, 500mm	633	1	本	材料費
番号札	アホック社同等品, 100mm×30mm, 刻印 (7字程度)	1120	1	枚	材料費

番号札作成-2

1本当たり

名称	規格	単価 (円)	数量	単位	備考
スプリング-2	アホック社同等品, 1000mm	1130	1	本	材料費
番号札	アホック社同等品, 100mm×30mm, 刻印 (7字程度)	1120	1	枚	材料費

業務委託料内訳書

業務名	令和8年度 街路樹（サクラ）健全度調査業務委託				業 種 目	土木設計業務 設計業務等運用	
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
設計業務等運用		式	1				
街路樹診断調査		式	1				
外観診断		式	1				
診断準備		本	703				
外観診断写真撮影		本	703				
外観診断-1	幹周：60cm \leq C<120cm	本	367				
外観診断-2	幹周：120cm \leq C<240cm	本	320				
外観診断-3	幹周：240cm \leq C	本	16				
外観診断結果分析		本	703				
外観診断 ^{入力}		本	703				
外観診断報告書作成		本	703				
機器診断		式	1				
機器診断写真撮影		本	158				

業務委託料内訳書

業務名	令和8年度 街路樹（サクラ）健全度調査業務委託				業 種 目	土木設計業務 設計業務等運用	
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
貫入抵抗測定-1	幹周：C<90cm, 硬材	断面	21				
貫入抵抗測定-2	幹周：90cm≤C<180cm, 硬材	断面	66				
貫入抵抗測定-3	幹周：180cm≤C, 硬材	断面	24				
貫入抵抗測定(根株)	硬材	断面	47				
貫入抵抗測定 ^{カテ} 入力		本	111				
貫入抵抗測定 ^{カテ} 入力(根株)		本	47				
貫入抵抗測定分析		本	111				
貫入抵抗測定分析(根株)		本	47				
貫入抵抗測定報告書作成		本	158				
共通		式	1				
共通(調査・計画業務)		式	1				
打合せ等		式	1				
打合せ	業務着手時, 中間時, 成果品納入時	業務	1				内 1号

業務委託料内訳書

業務名	令和8年度 街路樹（サクラ）健全度調査業務委託				業 種 目	土木設計業務 直接経費	
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
直接経費		式	1				
直接経費		式	1				
電子成果品作成費		式	1				
電子成果品作成費(設計)		式	1				
番号札作成		式	1				
番号札作成-1	幹周：50cm≦C<150cm	本	541				
番号札作成-2	幹周：150cm≦C<300cm	本	162				
直接原価（その他原価除く）		式	1				
その他原価		式	1				内 2号
一般管理費等		式	1				内 3号
設計業務価格		式	1				
消費税相当額		式	1				
設計業務委託料		式	1				

1 次内訳書

単価使用年月	2026.03
歩掛適用年月	2026.03
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 1号	打合せ	業務着手時, 中間時, 成果品納入時					
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
	打合せ		業務	1			内 4号
	合計						

1 次内訳書

単価使用年月	2026.03
歩掛適用年月	2026.03
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 2号	その他原価						
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
	直接人件費 (設計業務)		式	1			
	$\alpha / (1 - \alpha)$		%				
	その他原価		式	1			
	合計						

1 次内訳書

単価使用年月	2026.03
歩掛適用年月	2026.03
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

内 3号	一般管理費等					
名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要
業務原価		式	1			
$\beta / (1 - \beta)$		%				
一般管理費等		式	1			
調整額						
合計						

特記仕様書

委託業務名 令和8年度 街路樹（サクラ）健全度調査業務委託

履行場所 京都市内一円

第1章 総則

第1条 本業務の履行にあたっては、本特記仕様書によるほか、「土木設計業務等委託必携（令和8年2月 京都市）※」（以下「業務等委託必携」という。）によるものとする。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」⇒「監督・検査」⇒「土木設計業務等の仕様書、様式等」参照

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000190817.html>

第2条 電子納品

1 本業務は電子納品対象業務とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「京都市建設局電子納品実施要領（業務編）（令和6年3月）」（以下「要領」という。）に基づき作成された電子データをいう。

なお、要領に記載のない事項や疑義がある場合は、監督職員と協議のうえ作成するものとする。

2 成果品は、要領に基づいて作成した電子成果品を電子媒体（CD-R、DVD-R、BD-R）で1部提出するとともに、紙媒体で1部提出する。なお、協議により電子成果品を2部以上提出することや部分的な紙媒体の納品も可能とする。

3 成果品の提出の際には、京都市建設局電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認後、ウイルス対策を行い提出すること。

第3条 前払金

前払金は、請負代金の30%以内とする。

第4条 打合せ

1 本業務における打合せは、業務着手時、中間打合せ1回、成果品納入時の計3回行うものとする。ただし、監督職員と協議のうえ、打合せ回数を変更できるものとする。

打合せ回数に変更が生じた場合は、設計変更の対象とする。

2 業務着手時及び成果品納入時には、管理技術者が立ち会うものとする。

3 本業務において不明な点がある場合は、受注者が独自に判断せず、必ず事前に監督職

員に報告し確認を受けること。

第5条 確認義務

受注者は、次の事項に関して独自の判断で実施してはならない。

- (1) 設計図書に明示していない事項
- (2) 設計変更に関わる事項
- (3) 地元関係者等との協議に関わる事項
- (4) 天災その他不可抗力に関わる事項

第6条 目的

京都市のサクラ（街路樹）は、京都の春を彩る代表的な道路の観光要素であるが、市内の主要なサクラ並木の大半はソメイヨシノであり、植栽後、約50年以上が経過し、一般的にソメイヨシノの寿命と言われる樹齢60年を迎え老朽化が進行していると思われるものが多い。

老朽化したサクラを放置すれば、近い将来、倒木の危険性の増大、通行安全性の低下だけでなく、サクラ並木景観の衰退を招くこととなる。

本業務は、サクラ並木の安全性の確保、並木景観の保全、再生を図るため、外観診断を行い、外観診断の結果を基に、機器診断及び根株診断を行うことにより、その安全度及び健康度を調査するものである。

第7条 調査対象樹木

- 1 外観診断の調査対象樹木は、下表の路線の内、幹周60cm以上のものとする。

路線	本数（本）
白川南通	27
白川北通	26
川端通	176
新門前通	11
白川疏水路	69
深草疏水道	27
錦林車庫西側道	12
岩倉川右岸道	42
子供の樂園北入口	13
子供の樂園南入口	1
右京文化会館前通	10
罾原堤	32

桂川右岸道	10
醍醐西団地内道路	42
山科川沿	99
山科川遊歩道	62
向島西外周道路	44

- 2 外観診断の対象とする路線については、監督職員の指示により変更することがある。
これにより数量が変更となった場合は、設計変更の対象とする。
- 3 受注者は外観診断の結果に基づき機器診断及び根株診断の対象樹木を提案するものとし、監督職員の承諾を得たうえで機器診断及び根株診断を行う。
- 4 外観診断の結果により、機器診断及び根株診断における数量の増減が発生した場合は、設計変更の対象とする。
- 5 調査対象樹木の生育状況（幹周増加等）や本市の街路樹台帳と現地の不一致等により、数量の増減が発生した場合は、設計変更の対象とする。

第8条 提出書類

受注者は、業務の履行にあたり、委託必携の提出書類様式により発注者に提出し、承認を得るものとする。

第9条 協議・報告の義務

- 1 受注者は、履行期間中において、随時、委託必携の様式に従い進捗状況を発注者に報告するものとする。

発注者との協議内容は、打合せ簿に取りまとめて提出し、立会を申し出る場合は立会願を提出するものとする。

また、発注者との連絡を密にとり、発注者の指示により必要に応じて報告書を提出するものとする。

- 2 受注者は、契約後速やかに担当技術者を選任し、図書の打合せ、現場説明からその任に就かせるものとする。

協議は、そのつど記録し、打合せの際、相互に確認するものとする。

第10条 秘密の保持

受注者は、本業務履行中に生じた全ての成果等を、発注者の許可なく他に公表及び貸与してはならない。

また、本業務により知り得た事項を他に漏らしてはならない。

第 11 条 著作権

本業務履行中に生じた全ての成果等に係る著作権については、本市に帰属するものとする。

第 12 条 損害賠償等

受注者は、本業務の実施にあたり、関係法令等を遵守し、常に公衆に迷惑を及ぼさないように留意しなければならない。

万が一、第三者との間に損害が生じた場合は、全て受注者の責任において解決するものとし、発注者に経過を報告するものとする。

第 13 条 関係機関協議

本業務に伴う関係機関協議（警察協議等）は、発注者が行うものとするが、協議に必要な資料は受注者が作成するものとする。ただし、協議資料の作成及び提出が遅れ、作業予定日までに、発注者が協議を行う期間を十分に確保できない場合は、受注者の責務で協議を行うか、作業予定日を変更すること。

作業の際の隣接する地元関係者（官公庁等も含む）との協議は、受注者の独自の判断で実施してはならない。特に、作業区域、作業時間、作業実施日等に関する事項については、必ず監督職員に報告し確認を受けること。

また、本業務実施中に民地内に立ち入る必要が生じた場合は、事前に所有者の承認を得なければならないため、必ず監督職員に報告し指示を受けること。

なお、本業務実施に際して、民有又は官有の施設を破損した場合は、受注者の費用負担で復旧し、速やかに監督職員に報告すること。

第 14 条 貸与する資料

本業務に必要な関係資料を別途貸与するものとする。

受注者は、貸与された資料について借用書を提出し、本業務の完了時まで返還するものとする。本業務で使用する資料の収集については、発注者の指示又は許可を得た後に実施するものとする。

第 15 条 納入場所

本業務の成果品の納入場所は、京都市建設局みどり政策推進室とする。

第 16 条 完了

受注者は、業務完了の際に完了通知書、引渡書、成果納品書とともに成果品を納め、完了検査を受けるものとする。

第 17 条 疑義

委託必携に定めのない事項及び疑義が生じた場合は、発注者と協議のうえ、指示に従うものとする。

第 18 条 文書による変更手続き

業務内容の変更等により設計変更を行う必要が生じた場合には、変更契約手続きを文書により確実に行うために、必要な指示や協議等は、打合せ簿や業務等委託関係書類等の書面により行うものとし、これがないものについては、設計変更の対象としない。

第 19 条 ウィークリースタンスの実施

本業務委託は、ウィークリースタンスの対象である。

実施に当たっては、「京都市建設局ウィークリースタンス実施要領」に基づき、受発注者相互に協力し、以下の項目について取り組むこととする。

- (1) 休日明け日（月曜日等）は依頼の期限日としない。
- (2) 休前日（金曜日等）に新たな依頼をしない。
- (3) 勤務時間外に書類作成等の依頼をしない。
- (4) 昼休みや勤務時間外の打合せを行わない。
- (5) 作業内容に見合った作業期間を確保する。（適正な期限日を設定する。）
- (6) 打合せは Web 会議（ビデオ会議機能）も活用する。

なお、業務委託の特性を踏まえ、災害等の緊急的な対応、第三者等の要求に伴う対応及び関係機関等との協議による休日又は夜間作業等により、取組が実施できない場合の対処方法（依頼や期限に関する特例、代休、振替休日の措置等）については、受発注者で確認し、共有する。

第2章 作業特記事項

第20条 作業確認

受注者は、主要な作業段階の区切り目等において、監督職員の確認を得なければ、次の作業を進めてはならない。

第21条 参考図書等

診断にあたっては、下の図書等を参考にすること。

- ① 街路樹倒伏対策の手引き 第2版（国土交通省国土技術政策総合研究所 H31年2月）
- ② 令和3年度街路樹診断等マニュアル（東京都建設局）
- ③ 樹木医の手引き（改訂4版）（一般財団法人日本緑化センター）
- ④ 過年度に本市が発注したサクラ景観創造プロジェクトの成果品
- ⑤ 令和7年度 街路樹（サクラ）健全度調査業務委託の成果品

第22条 作業内容

1 外観診断

(1) 診断準備

(ア) 本業務を行うにあたり、調査対象樹木の状況（本数、位置等）を把握するため、監督職員から受領した資料（街路樹台帳等）を用いて現地を踏査し、受領した資料と現況との照合確認を行う。

(イ) 樹高、幹周、枝張りを測定する。

- ・ 樹高は、測高器等を使用して測定する（徒長枝は除く）。また、測定は0.5m単位で行うこと。
- ・ 幹周は、地上1.2mの位置で、メジャー等を使用し測定する。また、測定は1cm単位で行うこと。
なお、幹が2本以上に分岐している場合は、各々の周長総和の70%を幹周とする。
- ・ 枝張りは、メジャー等を使用し測定する（徒長枝は除く）。また、測定は0.5m単位で行うこと。

(ウ) コイルスプリング等を使用し、地上1.5～2m程度の高さに番号札を設置する。

(2) 外観診断写真撮影

(ア) 対象樹木の全景及び被害部（幹、根元、大枝等）をデジタルカメラ等で撮影し、写真の整理まで行う。

(イ) (ア)に加えて診断作業中の状況写真を撮影すること。路線毎に1箇所程度撮影すること。

(3) 外観診断

(ア) 対象木について、カルテの診断項目に則り診断する。

なお、診断作業は、専門家（樹木医、街路樹診断士等の資格を有する者）を含む2名以上で実施することが望ましい。

街路樹診断士とは、一般社団法人街路樹診断協会が認定する街路樹診断に関する専門家である。また、樹木医とは、一般財団法人日本緑化センターが行う樹木医資格審査、証明事業により登録された樹木に関する専門家であり、本業務にこれらの資格を有する者が携わる場合は、街路樹診断士証、樹木医証の写しを提出すること。

(イ) 対象樹木の健康状態（樹皮枯死欠損、腐朽、開口空洞、キノコの発生、木槌打診、傾斜、揺れ、病害虫の有無等）を確認すること。

(4) 外観診断結果分析

(ア) 外観診断の結果を整理、分析して健康度等を判定する。また、診断結果から取るべき対策等を検討してとりまとめる。

(イ) 外観診断の結果から機器診断及び根株診断が必要な樹木を抽出し、その理由及び機器診断実施箇所等を取りまとめ、監督職員に報告する。

(5) 外観診断カルテ入力

(ア) 外観診断結果に基づき、外観診断カルテを整理すること。

(イ) 外観診断カルテの様式については、令和7年度 街路樹（サクラ）健全度調査業務委託の成果品を参考に監督職員と協議のうえ、決定するものとする（参考：**別紙1**）。

(ウ) 写真は外観診断カルテの所定位置に添付すること。また、全景写真においては異常状況が安易に確認できるよう、写真上に注釈を記入すること。

(エ) 整理した外観診断カルテに基づき、一覧表を作成すること。

(6) 外観診断報告書作成

(ア) 診断結果及び作成したカルテを報告書としてまとめる。

2 機器診断、根株診断

(1) 機器診断写真撮影

(ア) 対象樹木の調査箇所等をデジタルカメラ等で撮影し、写真の整理まで行う。

(イ) (ア)に加えて診断作業中の状況写真を撮影すること。路線毎に1箇所程度撮影すること。

(2) 貫入抵抗測定

(ア) 対象樹木について、腐朽や空洞の状況を定量的に把握するため、貫入抵抗測定機（「レジストグラフ」等）を使用し、診断作業を行う。

(イ) 貫入抵抗測定は、原則として、対象樹木1本毎に4方向の測定を行うこと。ただし、対象樹木の幹周、腐朽状況等により、4方向の測定が困難な場合は、監督職員と協議のうえ、対応すること。

(3) 貫入抵抗測定分析

(ア) 貫入抵抗測定結果を整理、分析して健康度等を判定する。また、診断結果から取るべき対策等を検討してとりまとめる。

(イ) (ア)に加えて、外観診断の結果も考慮したうえでの総合判定を評価する。

(4) 貫入抵抗測定カルテ入力

(ア) 機器診断結果に基づき、機器診断カルテを整理すること。

(イ) 機器診断カルテの様式については、令和7年度 街路樹（サクラ）健全度調査業務委託の成果品を参考に監督職員と協議のうえ、決定するものとする（参考：**別紙2**、**別紙3**）。

(ウ) 診断時に撮影した写真を、機器診断カルテの所定位置に添付すること。

(エ) 整理した機器診断カルテに基づき、一覧表を作成すること。

(5) 貫入抵抗測定報告書作成

(ア) 診断結果及び作成したカルテを報告書としてまとめる。

3 番号札作成

(ア) 番号札の記載内容等を発注者と協議のうえ、番号札を作成すること。

(イ) 番号札に記載する番号（内容）については、監督職員との協議により決定するものとする。

(ウ) 番号札に記載する番号（内容）は、7文字程度とするが、文字数に些少の増減があっても設計変更の対象としない。

第23条 安全確保

(ア) 作業にあたっては、作業員の安全確保はもとより、作業現場周辺における歩行者及び車両の危険防止のため、適切な措置を講ずること。

(イ) 作業計画の立案にあたっては、安全確保に関する安全規程を作成し、監督職員の承認を得ること。

(ウ) 作業に従事する全員に安全確保について意識を徹底させるものとする。

(エ) 診断に当たり、交通誘導警備員の配置が必要な場合は、速やかに監督職員と協議し、承諾を得たうえで配置すること。交通誘導警備員を配置する場合は設計変更の対象とする。

第24条 再調査

受注者は、完了検査において調査成果に誤りが発見された場合、発注者の指示に従い、受注者の責任において直ちに再調査を行い、誤りを訂正すること。

第25条 説明資料の作成

本業務の成果をパワーポイントにまとめること。パワーポイントは市民が容易に理解できるように作成すること。

第26条 成果品の仕様

(ア) 成果品は次のとおりとする。

- ・ 報告書
- ・ 報告書概要版
- ・ カルテ
- ・ 説明用パワーポイント
- ・ 電子納品媒体
- ・ その他監督職員の指示するもの

(イ) 報告書において、診断結果に基づき次の分析を行うこと。

- ・ 路線ごと、幹周区分ごと等の複数の観点からの健全度の傾向
- ・ 過年度の成果品との比較による老朽化の進行の程度

No.

場所	樹木医	診断日	年月日
樹木番号	樹高(H)=m	幹周(C)=cm	枝張(W)=m
樹種名	植栽形態	<input type="checkbox"/> 単独樹 <input type="checkbox"/> 植栽帯 <input type="checkbox"/> 緑地内 <input type="checkbox"/> その他	
		支柱	<input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 破損

活力診断	樹勢	枝の伸長量、梢端の枯損、枝の枯損、葉の密度、葉の大きさ、葉色等		良 ← <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 → 不良				
	樹形	主幹・骨格となる大枝・枝などの枯損及び欠損、枝の密度と配置等		<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5				
活力判定	所見	樹勢： 樹形：						
	活力判定	<input type="checkbox"/> 健全か健全に近い <input type="checkbox"/> 注意すべき被害が見られる <input type="checkbox"/> 著しい被害が見られる <input type="checkbox"/> 不健全						
外観診断	診断内容 \ 部位	根元		幹		骨格となる大枝		
	樹皮枯死・欠損・腐朽 (周囲長比率)	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 1/3未満 <input type="checkbox"/> 1/3以上		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 1/3未満 <input type="checkbox"/> 1/3以上		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 1/3未満 <input type="checkbox"/> 1/3以上		
	芯に達していない開口空洞 (周囲長比率)	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 1/3未満 <input type="checkbox"/> 1/3以上		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 1/3未満 <input type="checkbox"/> 1/3以上		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 1/3未満 <input type="checkbox"/> 1/3以上		
	芯に達した開口空洞 (周囲長比率)	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 1/3未満 <input type="checkbox"/> 1/3以上		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 1/3未満 <input type="checkbox"/> 1/3以上		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 1/3未満 <input type="checkbox"/> 1/3以上		
	上記3項目のうち最大被害部の周囲長比率	被害部幅 / 被害部周囲長 = 周囲長比率 %	被害部幅 / 被害部周囲長 = 周囲長比率 %	枯枝 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()		スタブカット <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()		
	キノコ (子実体)	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()		
	木槌打診 (異常音)	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()		
	分岐部・付根の異常	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()		
	胴枯れなどの病害	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()		
	虫穴・虫フン、ヤニ	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()		<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()		
	根元の揺らぎ	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()		建築限界越え 車道側		建築限界越え 歩道側		
	鋼棒貫入異常	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()		幹 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()		幹 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()		
	巻き根	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()		()		()		
	ルートカラー	<input type="checkbox"/> 見える <input type="checkbox"/> 見えない ()		()		()		
	露出根被害	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()		枝 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()		枝 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()		
不自然な傾斜	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()		()		()			
所見								
部位判定	判定・処置 \ 部位	根元		幹		骨格となる大枝		
部位判定	健全か健全に近い	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
	注意すべき被害が見られる	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
	著しい被害が見られる	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
	不健全	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
処置	剪定が必要	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
	機器診断が必要	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
外観診断判定	<input type="checkbox"/> A : 健全か健全に近い <input type="checkbox"/> B1 : 注意すべき被害が見られる <input type="checkbox"/> B2 : 著しい被害が見られる <input type="checkbox"/> C : 不健全							
判定理由								

機器診断	測定データ 1 部位 ()	腐朽空洞率: %	t/R率 ①	②	③	④
	測定データ 2 部位 ()	腐朽空洞率: %	t/R率 ①	②	③	④
所見						

総合判定	<input type="checkbox"/> A : 健全か健全に近い <input type="checkbox"/> B1 : 注意すべき被害が見られる <input type="checkbox"/> B2 : 著しい被害が見られる <input type="checkbox"/> C : 不健全					
判定理由						

No. 1

処置	必要性		<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	緊急性		<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり
	□要観察(長期周期)		□要観察(短期周期)					
	□剪定(□枯枝	□腐朽枝等	□支障枝	□風圧軽減	□スタブカット	□巻き根)		
	□樹体保護()	□植栽基盤の改善()						
	□根上がり()	□病虫害防除()						
	□更新()			□その他()				
	摘要							

立地平面図

診断概要図

その他特記事項	
---------	--

樹木番号:

No 街路樹カルテ番号 :

場所		樹木医名				診断日	年月日	
樹木番号		樹種名	樹高	m	幹周	cm	枝張	

測定高さ	m	測定直径	↓	cm	↔	cm	機種名	IML PD600		
俯角	°	補正直径	↓	cm	↔	cm	測定位置写真			
想定断面図							<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> ① ② </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 100px;"> ③ ④ </div>			

t/R率	各測定方向の t/R率と t/R率の計算式													
	①	()	/	(/)	②	()	/	(/)
	③	()	/	(/)	④	()	/	(/)

腐朽空洞率 (%)	%	空洞率計算式												
		(_____)
			_____)

所見														
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

測定結果														
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

凡例 ▶: データの終点 ■: 腐朽(空洞)部 bark: 樹皮 intact: 健全 decay: 腐朽(空洞)部 ◀: データの開始

No.

街路樹カルテ番号：

③

②

④

①

No 街路樹カルテ番号 :

場所		樹木医名				診断日	年月日	
樹木番号		樹種名	樹高	m	幹周	cm	枝張	

測定高さ	m	測定直径	↓	cm	↔	cm	機種名	IML PD600		
俯角	°	補正直径	↓	cm	↔	cm	測定位置写真			
想定断面図							<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> ① ② </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 100px;"> ③ ④ </div>			

t/R率	各測定方向の t/R率と t/R率の計算式													
	①	()	/	(/)	②	()	/	/)	
	③	()	/	(/)	④	()	/	(/)

腐朽 空洞率 (%)	%	空洞率計算式											
		(_____										+
													+

所見

測定結果

No.

街路樹カルテ番号 :

③

②

④

①

